

雪山登頂(シチカ山荘1泊・三六九山荘1泊の2泊3日)

※ポーターが登山口から三六九山荘まで往復同行します(行動は別。お一人様3kgまで荷物を預けられます)

- 個人装備/3シーズン用シュラフ(レンタル申込みの方は不要)、△シュラフマット、サンダル、食器、マグカップ、雨具、防寒着、防寒用帽子・手袋、行動食、行動水、洗面道具など
- 食事/朝食2・昼食1・夕食2 計5食
- 山荘設備/トイレ、水・お湯の補給有り、充電はできません。カメラなどは予備電池をお持ち下さい
- 登山道にトイレは有りません。山小屋のみとなります。



→1泊目のシチカ山荘。1日目は登山口から2時間弱の行程です



↑雪山登山中の食事は全て自炊となります。このようにガイドとポーターが調理して提供してくれます。各自食器をご用意ください



↑2日目はまだ暗いうちにシチカ山荘を出発(4時頃)



↑6時頃、途中で日の出です。台湾五岳のひとつ南湖大山などを遠望。展望が良ければガイドが山座同定をしてくれます



↑展望台の休憩所から急登を経て雪山東峰へ。シチカ山荘から3時間ほどです。好天なら、雪山主峰(左端のピーク)が初めて見えます。遠くには今夜泊まる三六九山荘も見渡せます



↑雪山東峰から1時間30分ほどで三六九山荘に到着します。休憩と軽食後、不要な荷物を置いて雪山山頂へ(マグカップはお持ち下さい)

注)表記の時間は参考または目安です。当日の状況によって前後しますので、ご了承下さい



↑→樹林帯を抜けて低木帯へ。展望が開けると雪山の山並みが目に飛び込んできます。山頂直下は雄大なカールとなっていて、春にはシヤクナゲなどの花々が咲き競います



←山荘から4時間ほどで雪山山頂に到着します。立派な山名石碑があり、360度の大パノラマが広がります。穏やかな天候なら山頂でランチ。登頂証明書をご希望の方はご自身の写真を撮影して下さい。



↑標高は台湾第2位の3886m



←三六九山荘へ往路下山(約2時間半)。展望を見ながら外のテーブルで夕食です。寒い場合もあるので防寒対策をお願いします

→夕食の一例(イメージ)



↑三六九山荘の部屋。平屋1階建てで二段棚式の板敷です。マットがあればより快適ですが、無くても大丈夫です。シチカ山荘もほぼ同じ造り

→3日目は朝食後、6時頃に小屋を出発し、往路を下山します。登山口の武陵農場までは4時間ほど。立派な休憩所があります(写真)。ここでポーターさんとお別れし、専用車で台北へ戻ります。登山ガイドは台北まで同行します



→逞しいポーターさん。登山ガイドの若手や見習いが担当することも多いようです

